

## 平成21年度 第一回 学校協議会について（報告）

1 実施日時 : 平成21年7月7日（火） 13:30～15:00

2 出席者 : 協議員 7名

### 3 協議内容

①「今年度の運営方針について」（説明） 校長

②昨年度の学校自己診断からみられる本校の課題について質疑応答並びに協議

### 4 協議記録（要約）

〈座長〉校長の学校経営の基本方針の説明を聞く中で、私の大事にしていることがたくさん含まれていてうれしく思う。私も学校経営の基本方針で「よりそう教育」をうたっている。

協議の進め方として、校長の基本方針と昨年度の学校自己診断結果とどのように対応しているのか等について発言していただきたい。

〈協議員〉校長の基本方針の（1）安全で安心して生活できる学校について、自己診断結果の教職員アンケートの24「防災教育・安全教育が十分行われている」では、わからないが60%となっている。校長が安全で安心して生活できる学校をめざしているのに、先生方の意識とのギャップがあると感じる。また、自己診断調査の回収率で教職員が92名中36名と少ないのは何か理由があるのか。

〈事務局〉教職員のアンケート回収率が少ないのは、忙しかったことが一因と考える。今年度は、職員会議で配布し、その場で記入、回収を考えている。

〈座長〉教員の回収率のアップについては、実施方法を変えるということなのでご理解願いたい。

次に、学校の安全についてですが、大教大付属池田の事件があるので過敏になるわけですが、生野聴覚支援学校に年間12000人もの来校があるということは、学校安全上もリスクが高くなり、課題になるのではないかと。協議会でもテーマとして取り上げ、現状を報告してもらい、協議してはどうか。

〈事務局〉学校全体として、防災訓練は、春に火災避難訓練・1月に地震避難訓練と年間2回実施している。そのほか各部では、幼稚部は、交通安全教室と防犯教室を大阪府警の協力を得て実施している。小学部は、いくみんパトロール隊の協力を得て実施している。中学部は、生野警察の協力を得て実施している。「わからない」が60%なのは、訓練的なことは行っているが、教育的なことが不十分と投げかけられていると考えている。

〈座長〉今回、新たにいくみんパトロールのS委員を委嘱されたのは、生野聴覚支援学校が安全で安心の学校をめざす意気込みだと思う。

〈協議員〉防災教育・安全教育が、「わからない」項目の上位5項目に入っている。安全教育に協力をし、いくみんパトロール隊として今年度も出前講座を行いたい。生野区の保育所、幼稚園で実施しているが、この学校の幼稚部、小学部の低学年向けにも出前講座をさせてもらいたい。

幼いころから自分の身は自分で守るという意識づけを持たせるため、生野区内では様々な取り組みをしている。一つ目は、お掃除大作戦の取り組みです。地域の公園を清潔にするという意味を子どもたちに教えて、地域の大人と一緒に清掃活動を三年前から行っている。それと共に保育所、幼稚園の幼児に「おそうじだいさくせん」という紙芝居を行っている。二つ目は、防犯標語「おこのみやき」運動の取り組み

です。出前講座でメンコ遊びを通じて防犯標語を覚えてもらえるように工夫をしているので、ぜひ呼んで欲しい。3年前、この学校の中学部の生徒に公園の壁に落書き防止のために、絵を描いてもらった。それからは落書きが全く無くなりとても助かった。この場をかりてお礼を言いたい。

〈協議員〉目の見えない、又は耳の聞こえにくい子どものことを考えて、手話のできる、身振りのできる、点字ができる専門の職員をおいてください。

〈協議員〉質問ですが、校時表が本校（小学校）は45分授業ですが、生野聴覚支援学校は40分授業ですね。聴覚支援学校は指導要領がどのようになっているのか。

〈事務局〉指導要領の弾力的な活用の範囲になる。中学部も45分となっている。本校は、40分の授業と別に横の帯時間を取っている。時数的には十分満たしており、学習指導要領が示す時間数以上をしている。

〈協議員〉保護者アンケートの回収率が高いと思う。アンケート結果で「はい」の回答が多いのは納得できる。疑問があれば聞けるようにもなっているので他校よりは開けていると思う。心配や悩みは他校より多いが、そのことについての先生の対応や回答に納得ができた結果だと思う。アンケート結果は今後の学校の指針となり、課題を見いだすことにつながるのだから、保護者がそのために答え、変化を期待するのは当然だと思う。教師のアンケートの回収率が少ないのは、学校に期待をしていないからと思う。

幼稚部から小学部、中学部に在籍する中で、他学部の情報を保護者が聞かなくても入ってくるような学校であって欲しい。幼小中と同じ建物にある学校として連携と交流を図ることはとても大切だと思う。

〈協議員〉アンケート結果は、学校にとって大切なものなのに教師の回収率が低いのはおかしい。アンケートは50%を超えないと考察ができない。もっとまじめに積極的に先生方に書いてもらいたい。

今の生野聴覚支援学校の幼稚部、小学部、中学部はつながりがいい。幼小中の子ども同士の交流が少ない。運動会や文化祭が、各部別々というのはおかしい。昔は、600人以上いた時も合同で行事をしていた。今は、もっと少ないのに各部別々では、先生間のつながりが途切れてします。独立の部みたいというのは良くない。

各部のつながりがきちんとできていないと学校が良くならないと思う。

〈座長〉学部間の交流については、協議テーマとして取り上げるのは難しい。どこかで学校として取り組みを報告願えればと思う。

〈協議員〉私たちは、いくみん隊と同じように子ども見守り隊を作っている。もちろん生野聴覚支援学校の子どもたちのことも考えているが、市と府では非常に違うところがあり行政は縦割りになっている。私たちの町会でも鶴橋小学校を守ると同時に生野聴覚支援学校も守らないと考えている。また鶴橋小学校を利用すると同時にこの学校も利用させてほしいとも思っているが、なかなか府立ということで難しいと聴いている。また、防災避難場所の指定も含めて。

〈座長〉テーマとして学部間の連携や保護者との連携も関係のある「個別の教育支援計画」と取り上げたらどうか。

第3回は、今年度の「学校教育自己診断」集計結果と教育活動の報告とし、第2回のテーマは、「学校の安全」。「個別の教育支援計画、個別の指導計画の取り組みについて」はどうか。第2回か第3回かは学校で決めてください。その他、従来取り上げてきたもので報告するものが望ましいものは報告願いたい。